

沖縄カトリック中学高等学校
学校通信

発行
沖縄カトリック中学高等学校
〒901-2215
宜野湾市真栄原3-16-1
TEL 098-897-3300
<http://www.catholic-okinawa.ed.jp/>
2020年9月30日(水)

野ばら 10月号

生活を共にする

校長 夏見隆晴

人が生きるという事は、普通に考えれば、誰かと共に同じ場所で生活をする、ということなのです。私たちはこの世に生を受けて、父や母あるいは兄弟姉妹の影響の受け、独自の成長を遂げてまいります。そして、幼稚園に通う頃になると、相当に個性というものがはっきりと出て来て、親は、我が子が何処の幼稚園に通えば、将来、自分でしっかりと生きて行けるか、などと考えて学校選びを始めます。確かに、人の一生はどこの学校に行くかによって大きく変わります。学校は何処でも同じ、という訳にはいかないのです。

私の家では、幼稚園はお寺さんの経営するところにと決まっていて、兄姉は皆「ご坊さんの幼稚園」と呼ばれていたところに通いました。それで末っ子の私も、当然同じ幼稚園に行くもの、と勝手に決めていたように記憶しています。ところが実際に入園することになったのは、住んでいた市の西部にあったその名も「西幼稚園」という大規模のところでした。園長先生は厳しそうなお顔をしており、担任となった先生も背の高い大柄な先生でありました。これは当時の私には、一挙に広い世界に投げ入れられたと感じた事でした。

幼稚園に通ったのは一年間だけであったせいか、沢山の記憶が残っている訳ではありません。けれども、園長先生と大柄の担任の先生の思い出によるのか、あるいは、わたし自身が末っ子であったためか、幼稚園とは「厳しい所」という印象だったようです。そのためか、あるいは一年間という短さのせいか、靴の脱ぎ方とか椅子の座り方とか、前を向いて先生のお話を聞くとかの記憶しか残っていないのです。近所の子たちと一緒に通った、という記憶も残っていないのです。あの一年という時は、必死に駆け抜けた感じです。

私の育ったところは古い城下町で、小学校の名前も城乾小学校と言いました。文字が示しているように、城から見て乾の方向にありました。小学校の六年間を通して1組となり担任の先生は、皆厳しい先生であったように記憶しています。小学校時代の学習の思い出で、記憶に残っているのは、教科を問わず沢山の本を読ませて貰ったということです。それと黒板に書かれた先生方の文字が綺麗で、真似する事に一生懸命だったということです。これは有難く感謝の気持ちと共に、小学校時代の懐かしい思い出となっております。

幼稚園・小学校から大学卒業まで、私と言う人間は本当に恵まれて育った、という事で感謝しております。勿論、欲を言えば切りがありませんが、お世話になった先生方、そして共に学んだ友人達からは、本当に沢山の励ましと愛を頂いたことに感謝しています。今日という日まで、私は本当に多くの人達から教わる事が続いているのです。そして、中学高校時代と、神様は、平凡な人間である私という人間をお使い頂いて、多くの人々への奉仕という仕事にお使いくださっていること、いくら感謝してもしきれないと感じています。



本から得られること

上地 かやの

最近、話題の本、1963年に書かれた小松左京の『復活の日』を久しぶりに再読しました。以前、読んだ時にはSF小説として面白く読み内容もなんとなくしか覚えていませんでした。しかし、新型コロナウイルス（COVID-19）が世の中を変えてしまった今、もう一度読みたいと思い手に取りました。未知のウイルス悪魔風邪が脅威の感染力で世界中に広がり、南極にいた約一万人を残して人類は死滅する。という設定です。もちろん、現在の新型コロナウイルス（COVID-19）はそのような悲惨な状況にはありません。正直、初め読んでいて苦しいな。と思いました。

しかし、作者の言葉「人間はどんなに大きな危機に直面しても、最後まであきらめないだろうと思います。大きな頭脳を使って、様々な努力をしましょう。人種や国を超えて、協力しましょう。そうあって欲しいと思います。」この言葉にこそ作品の意味があると感じました。今、私たちは新型コロナウイルス（COVID-19）により生活全体が大きく変わってしまいました。感染の恐怖、自粛生活、経済の閉塞感。でも、そんな中でも人々の助け合いや思いやりがニュースなどで多くみられます。それを見ると、明るい気持ちになり前を向くことができます。

読書は、読み手の年齢や状況で感じ方が大きく変わるものです。そこから得られることも多々あります。今回は、そのことを再認識することができました。





の行事

10月3日(土)	総合/PUP⑤/学校見学会①/ 基礎小論・小論模試 (放課後・希望者)
7日(水)	職員会議 (16:20 完全下校) カウンセラー来校日
8日(木)	カウンセラー来校日
12日(月)	第3回定期試験 (中学:13日まで 高校:14日まで)
13日(火)	午後:中学生クリスマス活動 (給食あり)
14日(水)	午後:高校生クリスマス活動 (弁当販売あり) カウンセラー来校日
17日(土)	総合①/数学検定 (午後・希望者)
19日(月)	カウンセラー来校日
21日(水)	委員会 後期①
22日(木)	進研模試⑤ (6年生のみ)
23日(金)	漢字検定 (放課後・希望者)
26日(月)	授業参観週間 (2~4校時) ~30日(金)まで ※ 要申込み
30日(金)	カウンセラー来校日
31日(土)	総合/高校総体新人戦

生徒の頑張り！

- 令和2年度沖縄県高等学校総合体育大会 ゴルフ競技 個人女子 第2位 高里 由貴子
- 令和2年度沖縄県高等学校総合体育大会 体操競技 種目別 鉄棒 第2位 中山 盛榎
種目別 跳馬 第2位 中山 盛榎
- 第57回中部地区児童・生徒科学作品展 銅賞 栗山 晃希/松本 陽
小野 真理子/岡田 千畝
中村 真緒/荒川 勘太
佐藤 りいら/佐野一斗
リフト クスティ 雛子
- 第40回ホームソング小中高校生作品コンクール小物インテリア作品部門 最優秀賞 佐藤りいら/今井麗
優秀賞 畑 愛理/盛山 優音
外間 玲美
佳作賞 今井 李/桃原 あき
田場 旭
特別賞 外間 玲美/今井 麗
盛山 優音
衣服作品部門 佳作賞 シンクレア フィオナ

○野球部 第70回 沖縄県高等学校野球秋季大会 1回戦 @セルラースタジアム那覇
対 興南高校 5回コールド 1×11 敗退

<野球部より>

初回到仲本くんのタイムリーで先制し、1回ウラ、ツーアウトまでいい流れだったが、興南の強力打線につかまり、大量失点をし、5回コールドで敗退。やってきたことがつながり、練習の成果が出せたことを自信にし、個々の能力を上げ、春に挑みたい。

多くの応援があり、制限がある中でも73名もの応援があり、職員も13名が来てくれたことに感謝。試合終了後、引退した3年生が自主的にスタジアムのゴミを保護者と拾う姿も見られ、結果で見えない野球の変化があった。春には400名以上の応援と、夏へのはずみにしていきたい。

これから長い冬場のトレーニングに入るが、この冬に耐え、春に芽を出し、夏には大輪の花を甲子園で咲かせますので、これからも応援よろしくをお願いします！

○バスケットボール部 第63回 全沖縄高校バスケットボール選手権大会 男子1回戦
対 中部農林高校 79-65 勝利！！

<バスケ部より>

試合開始直後は緊張からなかなか点数が入らず、自分たちのミスも重なって第1クォーターは1点ビハインドで終える。第2クォーターは徐々に緊張もほぐれ、オフェンス・ディフェンスともに良いプレーが続いて8点リードで前半終了。第3クォーター終了時には14点リードで最終第4クォーターへ。一時20点リードするなど全員が活躍し、79-65で勝利しました！！

試合後には相手監督から「ベンチからも声が出ていてとても良い雰囲気だった。チームがひとつになっていてとても良いチームですね」と声をかけていただきました。

そしてなんといっても、バスケ部はこれが公式戦初勝利！！

ここから新たな歴史をつくれるよう、これからも応援宜しくお願いします！！

